

地域包括支援センター

三鷹市の委託を受けた公的な立場で、地域の高齢者が、住み慣れた自宅で、その人らしく、落ち着いた生活を継続することができるよう、心身の健康保持、適切な医療及び介護保険をはじめとする各種サービスや地域の社会資源の利用など、生活全般に関するご相談に対応します。

三鷹市東部地域包括支援センター

地域の活動「転倒予防！ひまわり体操倶楽部」に学生が参加



活動の様子

今年度、杏林大学地域看護学研究室の卒業研究に協力しています。13人の学生が「地域のつながり」をテーマにアンケートや個別インタビューを実施。

その一環で、地域活動に参加しました。世代を超えた交流に花が咲き、高齢者メンバーからは「地域への思い」や「抱えている不安」等を伺うことができました。

参加した学生が地域を支える一員となって戻ってきてくれることを願っています。



弘済園内1階

☎ 0422-48-8855

【担当地区】三鷹市
牟礼・北野
新川2～3丁目

地元の杏林大学と色々な形で連携を深めています。

「認知症サポーター養成講座」を行いました。

杏林大学の看護学生を対象に認知症サポーター養成講座を行いました。

「認知症と診断されても自宅で生活をしている人は大勢いる。」「日常生活での困りごとは物忘れだけではない。」という説明に参加した学生は目を輝かせ、「これからも趣味の教室に通い続けるために」というワークでは、AIやスマホアプリを使って本人に知らせるといった学生らしい発想がたくさんでした。

「認知症にやさしいまち三鷹」の一員として、今後の活躍を期待しています。



講座の様子

三鷹市西部地域包括支援センター

「いのじん終活セミナー」報告



去年好評だった終活セミナーをバージョンアップして、今年度はより具体的に終活に取り組めるよう、計6回のセミナーを様々な講師に講演いただく企画として開催します。

第1回目は6月22日(木)に『誰にも訪れるエンディング期への備え』として去年12月にお招きした、(株)OAGライフサポートさん(行政書士)に講師をお願いしました。今回のセミナーでは、旅立つ場面だけでなく認知症や病気等さまざまな場面を考えて、事前に誰かに相談したり託したりしておく事が大切であるという「終活」の総論的な内容でした。

参加者のみなさんからは「次回以降もセミナーを通して終活について一步步備えていきます」と今後の取り組みにも積極的な声が聞かれています。以降のセミナーでは「認知症」「在宅介護サービス」「在宅医療・終末期の医療」「入所施設」「遺言・相続」などについて学んでいく講演を予定しています。



けやき苑内1階

☎ 0422-34-6536

【担当地区】三鷹市
井口・深大寺
野崎2～4丁目

いのじんニュース のぞみサロン&いのじん保健室

5月に井口5丁目集会所にて、三鷹警察署の協力を得て、交通安全や防犯についての講話を聴いています。自転車の事故の実際の映像を観たり、着用(努力)義務とされているヘルメットを実際に手にとってみたりと、あらためて事故の防止ならびに防犯に対する意識の向上に役立ちました。



『いのじん』とは？
『い』⇒ 井口地区
『の』⇒ 野崎地区
『じん』⇒ 深大寺地区
3つの頭文字を
合わせたものです。